



ずだじ まつしたやしき
頭陀寺と松下屋敷
 少年時代の井伊直政にゆかりの
 松下氏の本拠地

頭陀寺と松下氏、井伊氏

頭陀寺の歴史は古く、創建は大宝3(703)年。薬師如来の夢を見た文武天皇の命により建立され、貞観5(863)年には、清和天皇により定額寺(国内で一定の数に限られた特別な寺)に指定されました。

戦国時代になると、頭陀寺は今川氏の保護を受けて繁栄。境内には、今川氏に仕えた武家・松下氏の屋敷もあり、この一帯は「頭陀寺城」と呼ばれていました。当時の松下屋敷には、少年時代の豊臣秀吉が3年間奉公していたことが記録に残っています。

また、井伊直虎と共に井伊谷を追われていた幼少の



頭陀寺 南区頭陀寺町214 (☎463-8170)

HP <http://www.wla.biglobe.ne.jp/zudaji/>



頭陀寺副住職 鈴木章真さん

「直虎のように、生まれ育った地域から出ることなく生涯を過ごした人物にスポットが当たるのは素晴らしいこと」と話す鈴木さん。頭陀寺の副住職として、また「頭陀寺城(松下屋敷跡)を語る会」の役員として、地域の歴史の研究や情報発信に取り組んでいます。

井伊直政を、松下源太郎(清景が養子にし、直政が家康の家臣となるきっかけを作るなど、松下氏と井伊氏の間にも深い関係があったことが分かっています。

※松下源太郎(清景)：直政の母の再婚相手であった。

頭陀寺城(松下屋敷)は、少年時代の豊臣秀吉や徳川四天王の一人・井伊直政にゆかりの地であることから、最近「養育の地」としても知られてきました。また、松下家がなければ、直政のその後の活躍もなかったかも知れません。今回の大河ドラマ放送決定を受け、当寺でも、境内に資料館や秀吉・家康・直政の三公の銅像を建立する予定です。この地には、当時の有力な武将にまつわる歴史があるのだということを知っている人にも知られてほしい、地域の皆さんと協力してPRに取り組んでいきたいと思っています。



出せ法師
直虎ちゃん

新マスコットキャラクター「出せ法師直虎ちゃん」が誕生!

全国から寄せられた1,607点の中から、厳正な審査を経て選ばれた直虎ちゃん。虎の目としっぽがアクセントの尼僧姿で、手に持った愛用のやり「うなぎの思い」で、開運の気を振りまきます。

性格	ちょっと勝ち気で、浜松を愛する一途な女の子
チャームポイント	視野の広い大きなおめめ 聞き耳で鋭い動きが自慢のおみみ
将来の夢	浜松が女性や子供にとって、より住みやすいまちになること
能力	開運の気を振りまくこと
仕事	①浜松をみんなの笑顔があふれるまちにします。 ②井伊家ゆかりの地浜松の魅力を発信します。 ③出世大家康くんと一緒に浜松を盛り上げます。

直虎ちゃんのイラストは、市の承認を受ければ誰でも無料で使用することができます。ぜひ、はままつ福市長「出世大家康くん」と一緒に活用ください。(「デザインマニュアル」や使用申請書は、市ホームページを確認してください)

市HP▶直虎ちゃん デザインマニュアル 検索



女城主「井伊直虎」講演会

10月30日(日)午後2時~3時30分
えんてつホール(遠鉄百貨店新館8階)

講師 申込 高殿 円さん(「剣と紅」著者) 定員 500人(応募者多数の場合、抽選)
はがきに講演日、住所、氏名、年齢、電話番号、応募人数(最大4人まで)を記載し、女城主「井伊直虎」講演会係(〒430-0927中区旭町11-1プレスタワー5階)へ。または、遠鉄百貨店3F、遠鉄ストア各店舗に設置の応募箱に直接投函(店舗投函の場合、切手は不要)。【10月11日(火)必着】
※抽選当選者のみ聴講券を郵送。当選発表は聴講券の発送をもってかえさせていただきます。
問合せ 女城主「井伊直虎」講演会係 ☎455-4100